

福島小だより

学校通信



めざす児童像：よく考え 心やさしい 元気な子
令和3年3月1日 第14号

甘楽町立福島小学校
校長 中島 剛

○春到来 ～別れと出会いの季節です～

白やピンクの可憐な花をつけた梅が咲き誇り、日向ぼっこをしながら福寿草が黄色い花をつけています。校庭では桜のつぼみが膨らみ始め、大空にウグイスの初音が響き渡っています。季節は春に向かって三寒四温を感じる今日この頃、保護者の皆様は、いかがお過ごしでしょうか。

いよいよ6年生は、卒業という大きな節目を迎えます。小学校6年間の思い出を大切に、新たなステージへ旅立って行ってほしいと思います。また、1～5年生は、今年度のまとめをしっかりとやって進級に備えてほしいと思います。

○10年の節目に ～復興に願いを込めて～

2月の全校朝礼のテーマは「今を大切に生きる」でした。東日本大震災が起きてから3ヶ月後の2011年6月に、私が宮城県女川町へ復興支援に行った時の話をしました。震災前の町並みや津波で被害を受けた町の写真や、現地で活動しながら見たことや聞いたこと、感じたことを紹介しました。被災した子どもが語った「蛇口をひねれば水が出る、スイッチを着ければ灯りがつく、そんな当たり前のことがどんなにありがたいことか」という言葉が印象に残っています。



私たちは、普段の生活の中で感謝の気持ちを忘れず、周りの人と助け合って今できることを精一杯することが大切だと感じています。

○予告なしの避難訓練 ～自分の身は自分で守ります～

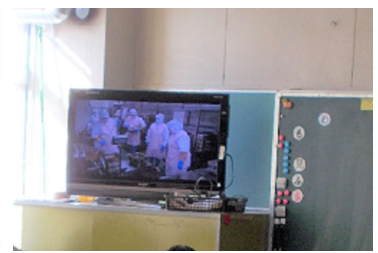
子どもたちには予告せずに避難訓練を行いました。火災を知らせる校内放送が入ると、子どもたちは驚いた様子でしたが、放送や担任の指示をしっかりと聞いて落ち着いて行動できました。もしもの時に、避難の合言葉（お＝押さない、は＝走らない、し＝しゃべらない、も＝戻らない）のとおり、安全に行動できるようにしてほしいと思います。



○食育指導 ～いただきますの意味を考えよう～

甘楽中学校の丸山栄養教諭と養護教諭の指導のもと、5年生は食育の授業を行いました。

まず、食材が給食センターへ届くまでに、農家の方々をはじめ、加工場や市場や販売店などたくさんの方々関わっていることを学びました。次に、給食センターで給食ができるまで、調理員の方々が朝早くから食の安全に配慮しながら調理してくださっているビデオを視聴しました。子どもたちは、動物の命をいただくことや、丹精込めておいしい給食を作ってくださっていることに感謝の気持ちを持って、授業を終えました。



○エコキャップ回収 ～身近なところから、できることを～

児童会本部役員の発案により、SDGsの目標3「すべての人に健康と福祉を」と、目標12「つくる責任 つかう責任」に関連付けて、ペットボトルキャップの回収が始まっています。皆様のご協力でたくさん集まり始めています。これからもよろしくお願ひします。

